

本庄市空間放射線量測定結果

下記の測定は、埼玉県と同様の空間放射線専用測定機器を導入し、計測を行いました。
測定値は、計測の時間帯や天候等に影響を受けることがあるため、あくまでも参考の数値となります。
なお、測定値には自然から受ける放射線量が含まれています。

測定日：令和1年8月28日

測定箇所	時	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)			換算値 (mSv/年) ※		
		5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm
1. 旭小学校	15:50	0.100	0.080	0.096	0.526	0.420	0.505
2. 仁手小学校	16:15	0.077	0.092	0.088	0.405	0.484	0.463
3. 市民体育館	15:30	0.064	0.062	0.064	0.336	0.326	0.336
4. 消防本部	15:05	0.078	0.070	0.065	0.410	0.368	0.342
5. 本庄市保健センター	13:52	0.079	0.065	0.074	0.415	0.342	0.389
6. 共和小学校	14:18	0.084	0.086	0.083	0.442	0.452	0.436
7. 児玉文化会館セルディ	14:40	0.073	0.066	0.064	0.384	0.347	0.336

※換算値とは測定値を年間の放射線量に直したものです。結果は mSv (ミリシーベルト) = $1000\mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)で表します。屋内(木造)についての活動は、屋外の0.4と換算し、屋外を8時間、屋内を16時間の計24時間で換算しています。上記により、換算値 = (測定値 × 8時間 × 365日 ÷ 1000) + (測定値 × 0.4 × 16時間 × 365日 ÷ 1000)で算出しています。

■測定場所：市内各7ヶ所

■測定方法：地表より5cm、50cm、100cmのそれぞれの高さで放射線量を測定する。

時定数は自動的に設定される。

指示値が安定したのち、表示されたデジタル数値を約10秒間隔で読み取る。

それぞれの高さで5回読み取った数値を平均化し測定値として算出する。

■測定器具：携帯型放射線測定器

(富士電機株式会社製 シンチレーションサーベイメータNHC7)

■参考情報：人間が年間「自然界から受ける放射線量」は、1人当たり世界平均約2.4 mSv とされています。

なお、平常時に「自然界から受ける放射線量」と「医療により受ける放射線量」を除いた場合の

放射線量は1年間で約1 mSv 以下が望ましいとされています。(2007年、国際放射線防護委員会調べ)

■参考リンク：[原子力規制委員会](#) 「放射能を正しく理解するために」(外部リンク)

[放射線医学総合研究所](#) 「放射能被ばくの早見図」(外部リンク)